



米本隆記 議員

問

恵みの里公社も3年がたち、平成22年度は事業の見直しが予定されている。農家は農産物、加工品に至るまでこの地で取れた物を広く活用し、県内をはじめ各地の消費者に喜んでもらえる物を作って公社に出荷している。

大山ブランドの

販売は

町長 付加価値向上に努める

恵みの里公社である。販売に努力し農家所得を向上させるのが、町で補助する公社の役割と考える。

大山ブランド品の販売促進はいかにするのか、農産物処理加工施設では、大山ブランドとして何を加工するつもりか。

理事長である町長の考えは、

答

森田町長

人員体制や集荷体制の整備を進め、今年度以上に事業推進に取り組み。

公社は、道の駅やみくりや市の直売所のほか、米子市内や岡山市内のスーパーに生鮮野菜を中心とした物産を出荷して好評を得ているが、出荷量が少なく消費者の要望に応えきれしていない。今年度は、こだわりの生産体制作りや品質向上活動を通じて付加価値向上を図っていききたい。

農産物処理加工施設は当面加工技術の向上や従業員習熟と経営基盤を確立するために、カレー・コロッケなどの受託商品の生産が中心となる。

こだわりの逸品塾の継続や、独自研究を行い、本町の農畜産物を生かした製品づくりにも取り組んでいく。



大山ブランドを求めて(道の駅)

問

名和地区の拠点保育所はよく検討して結論を

教育委員 長

保育所再編について意見を聞く会が先日各地区で開催された。

保育所再編検討委員会の協議結果では大山・中山地区とも高規格道路のインターに近い所が候補地となっている。

しかし、名和地区では、名和小学校付近か庄内小学校の跡地の2通りの案になっている。将来を考えれば、サブ保育所の存続が見通せ



再編が検討されている保育所

ない現状で、庄内小学校の跡地では、光徳地区から保育所に送って行って、インターまでは相当な時間がかかる。

また、保・小連携を考えれば、名和小付近に建設することが適当ではないのか。

答 伊澤教育委員長

意見を聞く会では、町有地の有効利用や工事期間等を考えると庄内小跡地に、保・小・中連携の進めやすさや、将来の交通アクセスの面を

答

森田町長

考えると、名和小・中学校付近にどの意見があった。また、光徳地区の人から庄内小跡地は西により過ぎていると意見があった。時間をかけよく検討して結論を出す。

教育委員会で精力的に協議してもらっている。町民から「保育所をここに造ってよかった」と言っても、らえるよう検討・協議していく。